

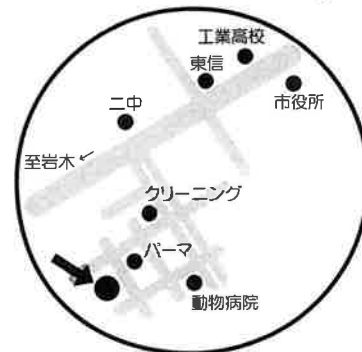
パパは なんて
こどもを
あまやかして
ママを
あまやかさないかねえ？
(小学1年生)

ダビデ保育園子育て通信

(弘前市城西2丁目5の6 TEL 33-1206)



～こひつじだより～



11月の聖句



どんなことにも
感謝しなさい。

(テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5:18)

11月は、勤労感謝、収穫感謝と感謝について考える機会がたくさんあります。具体的な事柄を通して、目には見えないけれど、私たちが常に生かして下さる神に感謝する心を、子供たちに育てていって欲しいと思います。

こどもの本

まる!

得田 之久/作 北村 人/絵



ばんださんが…まる！
ねこさんもまねして…
まる！
かわいいどうぶつたちがページをめくるとま
るくなる！一緒にま
ねしたくなるあかちゃん絵本です。

近視対策 幼少期から

子どもの近視が増えている。放っておくと大人になって視覚障害につながる恐れも指摘されている。幼少期からの対策で予防や進行を遅らせることを意識したい。文部科学省が昨年12月に公表した学校保健統計調査(速報値)によると、裸眼視力が1.0未満の子どもの割合は、小学校で32%、中学校で56%、幼稚園でも24%いた。大人になっても近視が止まらない人もおり、より強度の近視に進むと、眼鏡など

子どもの目に良いとされる過ごし方

- スマホなどを凝視し続けない。長時間見る際は数分に1度遠くを見る
- タブレット端末はスタンドを用いて立てる
- 読書は明るい場所で。本は目から30～40cm離す
- 外遊びや窓際で過ごす時間を多くとる。1日2時間以上が理想

での矯正も難しくなり失明につながる恐れもあるので放置しては駄目だ。子どもは、視力が落ちて見えにくいなどと訴えることはないの、親が気をつけてあげないと。普段の日常会話の中で、遠くの物を指して何かを答えさせたり、色についても赤や緑などを中心に聞いてあげると色覚異常の確認もできます。

外遊びが近視リスクを下げる可能性も指摘されているので、1日2時間くらい外遊びが出来る、近視の予防に大きな効果があるそうです。お天気の良い時は、できるだけ外遊びをしましょう!!

～読売新聞～

秋・冬は感染症流行の季節

感染対策 できていますか?

今年も風邪、インフルエンザ、新型コロナウイルスなどの病原菌が活発になる時期がやってきました。感染対策の基本をおさらいしましょう。

手洗い 石けんで時間をかけて洗うのがコツ。

湿度を保つ 乾燥するとのどや鼻の粘膜のバリア機能が弱ります。

人混みを避ける 繁華街へのお出かけなどは必要最低限に。

感染対策はみんなのため

インフルエンザや新型コロナなどは、小さな子どもや年配の方、妊婦さんなど、感染すると重症化しやすい人がいます。感染拡大防止は、そういった人たちを守ることにもつながります。うつらない・うつさないを合言葉に、対策を万全にしていきたいと思います。

11月の予定

1. 電話による育児相談

月曜日～金曜日 AM9:00～PM4:00



ダビデ保育園
33-1206

1人で悩まないでチャット電話をしてみませんか？心が軽くなるかも……？御希望により面接、訪問、出張もいたします。ご連絡ください。

2. 看護師による保健相談

・子育てのこと、健康のこと、気になること、何でもご相談ください。

3. みんなであそぼう!

11月6日(金) AM10:00～12:00

「小麦粉粘土であそぼう!!」

小麦粉で作った粘土はどんな手触りなのかな!? お家の方と一緒に色々なものを作ってみませんか? どなたでもどうぞ!!

※人数制限をやめました。

前日までの予約をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策として、以下のことに留意してご参加下さい。

- ・体温がT37.5℃以上ある、また力ぜ症状等がひどい場合は参加をご遠慮下さい。
- ・活動中、密になるような時はマスク着用(大人のみ)をお願いすることがあります。